

# ふれあい 曾山医院

志筑1391-9  
Tel:62-5566

2013年11月号  
(第87号)

発行人  
曾山 信彦



編集委員会



藤島 敦子  
棟近 成氏  
西岡 博子  
赤松 陽子  
福井 真巳  
谷岡 尚子

## 「CKD」とは

最近新たな国民病として『CKD』と言う言葉を知ったことはありませんか？『CKD (Chronic Kidney Disease ≡ 慢性腎臓病)』とはさまざまな種類がある腎臓病の総称です。

### Ⅰ. 腎臓の働き

「肝心要」の言葉通り腎臓は重要な臓器で腰のやや上に左右1個ずつあります。こぶし大の大きさで重さは150g程。そら豆のような形をしており老廃物や水分などを排泄し尿を作るための臓器です。

### Ⅱ. 腎臓病とは

腎臓の働きが悪くなる



①患者数が多い：2008年の日本腎臓学会による統計では日本の成人の8人に1人の方が腎臓病。  
②自覚症状がない：腎臓の機能が20%程度になるまで、体の異常や不調が見られないことが多い。  
③心筋梗塞や脳梗塞との関係が深い：健康な人に比べて約2倍の確率で心筋梗塞にかかるリスクがある。

④進行すると腎不全になる：腎不全とは腎臓の働きが低下した状態をいい、急性腎不全と慢性腎不全の2種類があり進行すると透析療法あるいは腎臓移植が必要となる。  
【種類】  
①慢性腎炎：何らかの原因で腎臓内にある糸球体に障害が起こる病気。  
②糖尿病性腎症：糖尿病に由来する腎臓病。  
③腎硬化症：高血圧や動脈硬化に由来する腎臓病。  
④多発性のう胞腎：腎臓にのう胞（液体が溜まった袋）がたくさんできて腎臓を圧迫し腎臓の機能が低下する遺伝性の病気。  
⑤ネフローゼ症候群：何らかの原因で腎臓に障害が起こることにより、た

んばく質が尿中へ排出されてしまう状態。  
【症状】  
たんばく尿・血尿・むくみ・高血圧・尿量の変化など。腎臓病が著しく進行すると尿毒症という深刻な状態になる。  
【一般的な検査】  
①尿検査：腎臓病かどうかの手がかりを得るためのもっとも簡単な検査。  
②尿沈査：腎臓病の種類を知ることができる。  
③血液検査：クレアチニン・eGFR・BUN等。  
【治療】  
①食事療法：たんばく質は摂り過ぎず、エネルギー量はしっかりと確保し塩分は控える。  
②薬物療法：腎機能の低下を遅らせること、低下した腎機能の働きを補う2つの目的がある。

### インフルエンザ予防接種のご案内

#### 一般の方

期間：H25年10月1日～H26年2月28日  
料金：1回 2,100円

#### 65歳以上の方

期間：(淡路市・洲本市) H25年10月1日～H25年12月31日  
(南あわじ市) H25年10月1日～H26年1月31日  
料金：1回 1,000円

\*\*\* 今年から予約制となります \*\*\*  
ご都合の良い日時で予約をお取り頂きますようご協力をよろしくお願い致します。(携帯電話・パソコンからでも予約可能ですが、2人以上で予約される場合はお問い合わせ下さい。)

曾山医院

### 【生活指導・生活改善】

①過労を避け規則正しい生活を送る。  
②ストレスを溜めない。  
最後に2012年腎臓病学団体が10年ぶりにCKD診療を再評価し重症度分類を改訂しました。腎臓病学は常に進歩しています。健康診断で「たんばく尿」や「血尿」「高血圧」を指摘されたり、「採血」に異常があった場合は、そのままにせず速やかに医療機関を受診しましょう。(看護師 西岡 博子)

